



<学校の教育目標>
心豊かに たくましく 生きる子

さくら

可児市立桜ヶ丘小学校
No. 5
令和3年7月20日



子ども自身が、やりとげつくり出す夏休みの生活

校長 小田 一洋

本日、全校放送による朝の集会で、『全校の4月からの生活や学習についての振り返り』と『毎日を大切に作る夏休みにしてほしいという願い』の2つの話をしました。

学校の教育目標の具現に向けて、めざす児童の姿に「やりとげ つくり出す子 (知・徳・体)」を掲げています。夏休みの生活の中でも、心の豊かさ、たくましさを獲得する機会にしてほしいです。

自分から行動する夏休みに！ ～目標を立てる・それを達成する行動を見出す～

連日ニュースで話題ですね、偉大な実績を上げている大谷翔平選手。彼の目標達成シートの話を知っている方も多いと思います。驚くのは、目標達成には、「運」を引き寄せることも必要と考え、そのために、あいさつ・ゴミ拾い・道具を大切に使うなども設定し実行したことです。

さて、学校では、学習課題は与えられるものではなく、自分たちで見つける、設定する学習活動を大切に行っています。これからの予測困難な時代を生きるために、現状の自分から、自己課題を設定し、どんな解決をするか自分で検討し実行する習慣はとても大切です。

そこで、夏休みは決められた課題が出されていますが、自分でどの課題をいつまでに、どれだけ進めるか、決めて行います。また、長期の夏休みにしかできない自分の課題設定を行ったり、経験したりするように事前指導をしています。家庭での生活で、周りがすべてを準備してしまうのではなく、本人に考えさせ、行動させることを心に留めて、支援をしていただくとよいと思います。

今年の夏は、ちょうど、東京オリンピックが行われます。アスリートの生き方を知る、学ぶ、自己に反映できることを見つけるチャンスの年、とも言えないでしょうか。そんな話題のまとももキャリア教育との関連でとてもいい学びになると思います。

体や心の事故に絶対にあわない夏休みに！ ～家庭での見届けを～

明日から、心のゆとりを持った生活へととなりますが、緊張感のない気持ちのゆるむ生活へ陥る危険性もあります。毎年、子どもたちに関わる悲しいニュースが流れています。交通事故・水難事故・突然の気象変化による被害など、命に関わる事故が絶対に起きないように生活をしてほしいです。

また、『「心の事故」に絶対にあわない』という表記は、心のすきや心の油断をつくらないということを示しています。例えば、保護者の皆様へは、お子様の外出時、必ず、「だれとどこで何時までどう過ごす」といったことを確認する見届けをお願いします。余暇の過ごし方として、ゲーム機・スマホ・タブレット等の利用約束の確認も子どもたちの健全な育成の面から大切なことです。

配付文書「生徒指導だより」「保健室だより」等を参考に、お子様の学年やそれぞれのご家庭に合った形で、休みの過ごし方を話題にしてください。尚、学校では、SOS教育の一つとして、「困った時には一人で抱え込まない。誰かに必ず相談する。」と指導していることをお知りおきください。

東京オリンピック日本代表選手 張本天傑さんについて ～7/7お昼の放送から～

(前略) さて、昨日スポーツ少年団の指導者の方から、ビッグニュースが校長先生のところへ入ってきました。なんと、この桜ヶ丘小学校で勉強をした先輩の中に、東京オリンピックの代表選手に選ばれた方がいるというニュースです。上手になりたいと願いを強く持ち夢の実現を果たした先輩のニュースです。

その先輩は、小学校5年生の時に桜ヶ丘小へ転校してきて卒業をしました。お名前は、張本天傑 (はりもとてんけつ) さんと言います。

現在は、名古屋ダイヤモンドドルフィンズに所属しているバスケットボールの選手です。みなさんは、八村塁さんは知っていますか。アメリカの NBA で活躍しているバスケットボール選手ですよね。つまり、一緒に日本の代表選手になった方なのです。

私たちの学校に今回のオリンピックで活躍が期待される先輩がいるなんて、とてもうれしいニュースではありませんか。(中略) ぜひ、みんなで、張本さんの活躍する姿を応援していきたいですね。尚、校内に關係の掲示をするので読んでみてください。